

第 45 回 Wellbeing 研究会「保険外サービス展開のポイント」開催報告

高齢化が進む日本において、健康寿命の延伸に寄与するヘルスケアビジネスの 1 つとして、高齢者の生活の質（QOL）を高める保険外サービスをこれから提供しようと考えている福祉施設管理者、福祉事業経営者の方等に対して、保険外サービスの全体像（現状と今後の方向性）、先進的な取組み事例等について学ぶ機会を提供しました。

講師：①【全体説明】株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門
戦略コンサルティンググループ マネジャー 紀伊 信之 氏

②【事例紹介】株式会社エムダブルエス日高 代表取締役 北嶋 史誉 氏

日時：平成 29 年 10 月 24 日（火） 15 時 00 分～17 時 00 分

会場：仙台フィンランド健康福祉センター事業創成国際館 カンファレンスルーム
（仙台市青葉区水の森 3-24-1）

受講者：49 名

①【全体説明】株式会社日本総合研究所 マネジャー 紀伊 信之 氏

- ・厚生労働省、農林水産省及び経済産業省によるプロジェクトにて、保険外サービスとは何かをまとめた『保険外サービス活用ガイドブック』をリリースし、39 サービスを紹介している
- ・ケアマネの 90%以上が保険外サービスの必要性を感じており、必要性を感じる分野として「見守り（安否確認）」、「家事援助」、「生活援助」、「買い物支援」及び「外出支援」等が挙げられる
- ・愛知県豊明市（人口：約 7 万人）は、高齢者の生活支援、健康維持等に関連したサービスを提供する民間事業者（9 事業者）と連携協定を締結し、将来を見据えた動きを行っている
- ・要支援・要介護者向けのニーズとしては「旅行」が大きなビジネスチャンスと考えられ、認定前シニア（ギャップシニア）向けのニーズとしては健康維持を目的とした「介護予防」、「ロコモ予防」及び「認知症予防」等について今後大きな成長が期待される
- ・保険外サービスは「介護保険サービスの延長」との発想では難しく、サービス提供後、利用者の反応を見てブラッシュアップ等を行い、事業としての成長性（収益性）等を見極める社内体制、社内での位置付け（高付加価値化・差別化等）が非常に重要である



②【事例紹介】株式会社エムダブルエス日高 代表取締役 北嶋 史誉 氏

- ・弊社は介護保険外事業としてデイサービスの利用者が作製したハンドメイド作品（編み物等）をデイリーヤマザキ日高病院店で販売しており、自分の作品が売れる事により利用者の創作意欲が向上し、リハビリへの相乗効果に繋がっている

- ・シニアトレーニングジムは、「介護者も健康を保ちたい」等との在宅介護を担うご家族の方々からの要望に応え、シニア世代の健康寿命延伸に貢献すべく、55歳以上のシニアに特化している
- ・1日の利用が終了した地域福祉交流センター（自習室+ジム）を開放し、中学生・高校生向けにサービス（大部屋 or 個室の選択、Wi-Fi 使い放題及び毎回スポーツジム1時間）を提供している
- ・自費リハビリ（パーソナル・チームリハ）は、医療保険でも無く介護保険でも無い完全な実費負担のサービスであり、完全マンツーマンで専門家チームを作り、症状・目標に合わせたオーダーメイドプログラムの“あきらめないリハビリ”を提供している
- ・ICTリハは、ビッグデータからリハビリのパーソナルベストを導き出し、介護改善者の再現性を追求するシステムであり、各人それぞれの運動療法を8つのメニューに分類し、最適な組み合わせを提供している
- ・パーソナルベストと現状実績の差を修正し、これをビッグデータとして蓄積する事により、これまでは医師の経験に基づいてリハビリを行ってきたが、ICTリハにより、最適なりハビリを効率良く行い、①増大する介護給付費の抑制、②健康寿命の延伸等の社会的課題に寄与していく

